

## 第1回 東京ビジネス・リーダーズ・フォーラム 会議要旨

1 日 時：平成20年7月30日（水）午後3時から午後5時

2 場 所：都道府県会館（東京都千代田区平河町2-6-3）

3 目 的：

東京に進出している銀行や不動産、証券会社など外資系企業のトップ等に対して、市長が直接、都市再生の取組みやビジネス環境等の最新情報について説明し、大阪への企業進出や投資促進へのニーズ及び要望、シティ・プロモーションについてのアドバイスの提供など意見交換を行うものである。

4 テーマ：大阪への投資促進や企業進出に対するニーズ及び要望について

5 出席者：東京に進出している外資系の銀行や不動産、証券会社など7社のトップ等  
大阪市長、大阪市計画調整局長他

6 開催結果

(1) 開会（大阪市計画調整局 都市再生・プロモーションセンター 担当部長 長田 和男）

(2) プレゼンテーション

大阪の都市再生と今後のまちづくりについて

（大阪市長 平松 邦夫）

(3) DVD上映

緊急整備地域を中心とした大阪の都市再生の状況及び大阪進出企業や大学の方々からのコメント

(4) 意見交換

ゲストの主な意見等

- ・ 財政面では各地方自治体は苦勞しながら色々な取組みを行っている。大阪市も事業の仕分けの取組みを行っているのか、あるいは計画があるのか。
- ・ 困った人々に融資する金融政策を進めてみてはどうか。
- ・ 外国の銀行では、個人向け金融サービス内容の差別化や向上を考えている。そのような計画で重要な点は、拠点・ロケーションであり、近隣住民の平均所得や地区内の小売業売上高でも大阪は優れている。
- ・ 昼夜間人口比に関する話題に関して、市内居住をもっと促進しなければならない。その際には、教育に力を入れるべきであり、東京よりも海外に向けた人材を育成し、世界に向けて大阪で仕事を行う人を増やすという考え方もある。

- ・ 大阪市がイニシャティブをとって、関西を引っ張ってほしい。
- ・ 小売は魅力があり、アジアから相当な数の観光客が来ており、彼らには道頓堀等の個性的なところがうけると思う。アジアに注目し、企業・大学・研究機関がアジアに門戸を開いていくべきである。
- ・ オフィスの床面積増加に関しては、北ヤード2期開発に関心が高い。
- ・ リニア新幹線を大阪まで伸ばすようにしていただきたい。
- ・ ビジネスゾーンに床を増やすことよりも、港湾部での工場誘致や物流施設誘致を行うべきである。容積率アップをむやみに行うのではなく、高さよりも面での開発に取り組むべきである。

#### 大阪市の主な応答

- ・ 大阪市を国際的なまちにしたいと思っている。金融に関しては東京一極集中の状況にあるが、観光・集客面では、大阪は京都、神戸、奈良の真ん中に位置しており、その優位さを活かせることが可能である。ディープな大阪、ミナミの賑わい（若者のカルチャーや古い街並み）や水都 2009 イベントの水の回廊等、景観も含めて世界に情報発信する必要がある。今までは、良いものに関してはわざわざ言わなくても分かって当たり前という考えだったが、今後はより積極的にPRしていかなければならないと考えている。
- ・ 事業の仕分けに関しては、現在、事業分析に取り組んでいるところであり、棚卸しが済んだ段階で公開討論を行っていく。本当の無駄は何か、本当に必要なものは何かを精査していきたい。
- ・ 大阪の金融機能をどうするかについては、日本に集まるお金を東京から大阪に流れるようにしなければならないが、高度な金融商品を扱うことのできる人材がいない点や、魅力ある商品開発の点で欠けているのが課題である。
- ・ 教育、子育てに力を入れていきたい。その中で、子供の安全をきちんと見守る社会が重要である。また、大阪府警にも働きかけて、犯罪発生率を下げる取り組みをしていく。例えば、発生率の高いエリアを限定し、モデル的に発生率を劇的に下げるといった、街の安全をPRしていきたい。
- ・ 大阪市は他都市に比べて都市機能が集積している。大阪市が核となり、まわりの市町村に利用していただくという立場をとりたい。大阪府市による水道事業の連携なども始めたところであり、このような取り組み等から大阪市をアピールしていきたい。
- ・ 大阪城の天守閣に朝行くと、日本語は聞かれず、中国語や韓国語が飛び交っている。また、心斎橋のブティック街では、店員の態度が東京とは違い、アジアからの客に対しても優しく馴染みやすいと聞いている。このような大阪の良いところを、街もきれいにした上でPRしていきたい。
- ・ 北ヤード2期開発に関しては、環境を切り口に、学識経験者を交えながらビジョン

の策定に向けた検討を行っており、秋までには一定の方向性を示していきたい。また、リニア新幹線は大阪駅まで引いてもらいたいと考えている。奈良・三重・大阪の知事や大阪市も別途、JR東海さんをお願いしている。

- 大阪市はもともと平均的な容積率が高く指定されている。これは、人口が密集している市街地特性の中で、いかにして昼間人口を吸収していくのかということであり、東京より2,3割増しの容積率となっている。都市再生緊急整備地域では高く容積率を指定し、それ以外の地域は低くするなどメリハリをつけているところである。